

研究課題名	腎移植後貧血に対する新規 HIF-PH 阻害薬“ロキサデュスタット”の治療効果の検討
研究の意義・目的	本研究は大阪市立大学のみで行う研究です。腎性貧血に対しての新しい内服薬の一つであるロキサデュスタット(薬剤名エベレンソ)を使用した腎移植患者さんにおいて貧血への治療効果や安全性について明らかにするのが目的です。
研究を行う期間	公開データベース(大学病院医療情報ネットワーク研究センター 臨床試験登録システム(UMIN))における公表日～ 2023年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2020年11月～2022年3月に大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、移植後貧血の治療のためにロキサデュスタットを使用された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、性別、身長、体重、原疾患、既往歴、喫煙歴、拒絶反応の有無、前透析歴、血液検査結果、内服情報、副作用情報】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究責任者 長沼俊秀
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 長沼 俊秀 電話番号：(06) 6645-2366